

# 自然と生活

## 世界の農業

**3** 世界の農業と食糧に関する次の文章を読み、あとの各問いに答えよ。

世界の主要な農耕文化は、世界各地でそれぞれに利用されることになる主食の食材に影響を及ぼしてきた。農作物からみた世界の食文化は、大きく四つに分けることができる。まず( 1 )文化は、ヨーロッパとその移民によって開拓された新大陸を中心に分布している。( 2 )文化は、アフリカと、新大陸農耕文化の **A** を主食とするアメリカ大陸で発達した。また( 3 )文化は、東アジアから東南アジアにかけて発達した。さらにイモ類を多く栽培する太平洋の島々や、**B** を主食として栽培する南アメリカ(主にアンデス地方)に見られる根栽農耕文化がある。

( 1 )文化に見られるように、大航海時代以降、農産物の流通は大陸をまたぐ規模に拡大した。そして、それぞれの農耕文化の融合が起こるようになり、原産地とは異なる地域で主産地が形成される農作物も見られる。今日ではさらに国際化が進展し、日本には世界各地から農産物が流入し、各農産物の旬や端境期は失われたともいえる。一方で、農産物の大輸出においては、大規模で企業的な農業経営が行われている。その代表的な国であるアメリカ合衆国では、**C** が種苗や農業機械などの農業資材の供給から農産物の輸送や流通に至るまで強大な支配力を持ち、国内だけでなく世界の農産物の流通に大きな影響力をもっている。

問1 空欄( 1 )～( 3 )に該当する語句の正しい組合せを、次の中から選び、符号で答えよ。

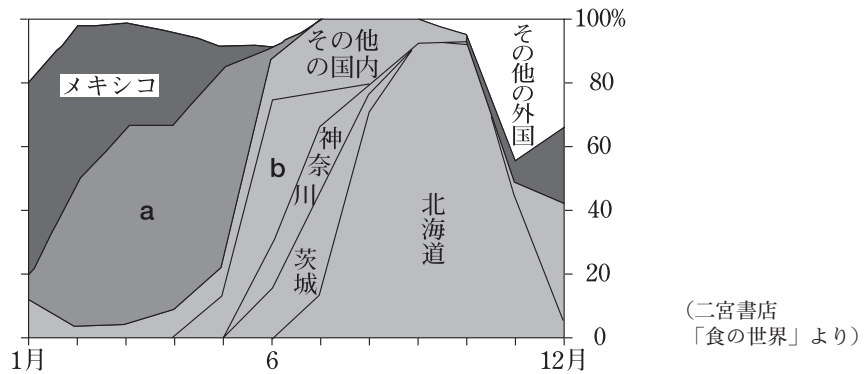
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
1	麦	麦	米	米	雑穀	雑穀
2	米	雑穀	麦	雑穀	麦	米
3	雑穀	米	雑穀	麦	米	麦

問2 空欄 **A** ・ **B** に該当する、南アメリカが原産地である農作物名を、それぞれ記せ。

問3 空欄 **C** に該当する、穀物の国際的な流通を支配する巨大な商社を意味する語句を、6字で記せ。

問4 下線部①に関して、南アメリカからギニア湾岸からコンゴ川流域にかけての熱帯アフリカに伝播し、その地域の住民の主食となった農作物名を、カタカナ5字で記せ。

問5 下線部②に関して、次の図は、東京市場における月別・産地別カボチャ入荷量の割合（1995年）を示したものである。図中の a に該当する国名と、b に該当する県名を、あとから選び、符号で答えよ。



- ア. ロシア    イ. カナダ    ウ. ニュージーランド    エ. アメリカ合衆国  
 オ. 青森    カ. 鹿児島    キ. 新潟    ク. 群馬

問6 下線部③に関して、アメリカ合衆国西部の半乾燥地域における穀物生産において盛んに利用されている、地下水を利用した大規模な灌漑施設は何と呼ばれるか。カタカナ8字で記せ。

問7 下線部④に関する記述として適切でないものを、次の中から一つ選び、符号で答えよ。

- ア. 「緑の革命」では、発展途上国の食糧の増産をはかるために、収量の多い米や小麦の新品種の開発・導入が行われた。  
 イ. 両者の長所を合わせもつ雑種であるハイブリッド種は、その性質を受け継ぐことが難しいため、農家は毎年その種子を購入しなければならない。  
 ウ. バイオテクノロジーによって作りだされた遺伝子組み換え作物・食品は、その安全性が問題視されるようになり、現在その栽培は国際的に禁止されている。  
 エ. 遺伝子組み換えなどの先端技術の開発は、その大半が資金力のある企業や政府機関によって進められている。